7月サポーター会議

作成：稲田

＜開催＞7月28日(木)14:00〜

＜参加者・本紹介＞

木山さん『鞄図書館』

和泉さん『number』

戸田さん『ジェンダーと脳』

松本さん『アイヌと縄文』

礒井さん『日本史を疑え』

里形さん『ミッドナイトライブラリー』

古谷『ドミノin上海』

稲田『ぼくだってウルトラマン』

根本『ロージーのおさんぽ』

●7月の館内の様子／利用者、会員登録、寄贈などの集計結果の報告

・会員登録数は、間も無く3000人に達する見込み

●来館者アンケートについて

　７月から始まった、お客様アンケート。館内をはじめ、科技大、市役所、パソコン教室など市内数カ所でチラシやポスターを使いお知らせをしてきた。７／２８現在で、約370名の方から回答を頂いている。集計結果は、次回8月のサポーター会議でお知らせする予定

＜絵本の寄贈について＞

千歳在住の谷口さんから「道新の記事を読み、本の寄贈ができることを知った。息子や孫が読んだ絵本がたくさんあるのでぜひ寄贈したい」と電話連絡があった。後日、谷口さんの友人の久保さんと一緒に381冊もの絵本や図鑑を寄贈いただいた。今後は「絵本deつながろ」のメンバーの方々にご協力いただきながら、効果的な配架を考えていきたい

●植本祭について

会議に出席の和泉さん、松本さん、戸田さんは、植本祭にもカタリストとして参加予定。

和泉さんータロット占い

松本さんー絵本の読み聞かせなど

戸田さんーマンガについて語る

日時もほぼ決定。今後は自身のイベントについて、知人への周知や個人のSNSで「#ブックフェスタ2022」を使用し告知を行ってもらう

●ブックフェスタのお手伝いを依頼

「ちとせまちライブラリーブックフェスタ2022」期間中のお手伝いを募集

・グリーンベルト各イベントの来場者の案内、植本祭の会場準備など

会議出席のサポーターさんに協力を依頼

・巣箱グランプリの案内、カタリストとして参加の松本さん、戸田さん、和泉さんは植本祭終了後もライブラリーに残って協力していただけることに。また、木山さんはグリーンベルト会場で巣箱グランプリの案内を担当していただける予定

●『まちライブラリー１日館長』をイベントにしてみては

・カウンター業務や来館者との交流など、時間を決めスタッフの業務を体験してもらう

・親子で参加できる内容を検討していく

＜サポーター会議に出席して＞

・タウンプラザの立ち上げから関わってきたが、最初の熱量は本当にすごかった。そのせいか、いまだにタウンプラザにあると思っている人がいるなど、現在でも、「まちライブラリー＠ちとせ」は認知されていないと感じることがある。サポーターからも意見や考えを出し合える雰囲気づくりは大切だし、「自分たちのライブラリーである」という気持ちになってもらいたいと思う。スタッフからの声掛けなど、ちょっとのきっかけで、ライブラリーに行ってみよう、サポーター会議にも出席してみようという人が増えるのでは。サポーターとしても、どうしたら多くの人にライブラリーを知ってもらえるかを考えていきたい

・今回初めてサポーター会議に出席したが、想像していたよりも深い話をしていると感じた。学生にはサポーター会議に出席するなど、ライブラリーの活動に興味を持ってもらいたいと思う。自分は現在ボランティア活動をしているが、後輩たちにも「部活だけじゃなく学校外での活動は自分の経験値を上げることができるよ」と広めていきたい

・自分ができることを探して、お手伝いしていけたらいいと思う

・イベントの開催などでライブラリーを利用させてもらっている。自分から何かやろうという人は、すでに動いていると思うが、ここは何をしていいか分からないという人にヒントをくれる場所だと思う。幅広いスペースの利用法があることを広めていきたい

＜まとめ＞

今年2,000人以上の署名によって再開された「まちライブラリー＠ちとせ」。全国のまちライブラリーにはない千歳市民が自慢できる場所になってきていると感じるが、継続させるには、もっと色々な形で、足を運んでくれる人を増やす仕掛けを考えなくてはならない。

生活の中の楽しみを作る活動ができる場としての利用も周知していけたら。ブックフェスタはそのきっかけになるのではないかと感じる。多くの人に“自分たちのライブラリー”と考えてくれたら嬉しい

以上